

フォーラム Forum Senior Life News Letter

シニアライフ通信



『特別養護老人ホーム 白寿園』の方による、介護リフトの指導風景

自身も痛みや不快感がなく快適な介護を受けられています。また介護の仕事において、とても重要な日々の報告書作成ですが、この作業が介護職員にとっては負担となっていました。しかし今では、ICT化によって、口頭で話すだけで文書化される音声入力が入力され、それだけで報告書が完成。そのほか、スマートフォンでテキストにチェックを入力することで、簡単に情報を共有できるようになったという施設も増えてきています。

働く現場の改善によって、介護職の「精神的・身体的負担が大きい」というイメージも、払拭されつつあります。ただ現段階では、過渡期にあるため、すべての介護施設で行われているわけではないというのも実情です。

■介護職の働き方の変化について教えてください。

以前は、特別養護老人ホームやグループホーム、有料老人ホームなどの介護施設で働く場合に、夜勤を行わなければならないという状況がありました。

■給与面について教えてください。

介護職につきまとう「給与水準が低め」というイメージですが、実は大きく変わっています。国からの「介護職員処遇改善加算」などの補助により、介護福祉士・新卒者の初任給は、都城圏域でも21万円を超えるところが増えてきています。今後も、さらなる改善がされると予想されます。また、この給与は国家



介護職につきまとう「給与水準が低め」というイメージですが、実は大きく変わっています。国からの「介護職員処遇改善加算」などの補助により、介護福祉士・新卒者の初任給は、都城圏域でも21万円を超えるところが増えてきています。今後も、さらなる改善がされると予想されます。また、この給与は国家

特集

介護福祉士の待遇が改善されていることを、ご存じですか？

超高齢社会の今、さまざまなメディアで介護人材不足が叫ばれています。キツイ仕事というイメージのある介護ですが、実は、ICT化や福祉用具などの向上、教育システムの充実などにより、働く現場は改善されています。また、給与面も改善され、驚くほど報酬も高くなりつつあります。さらなる高齢化が進む今、優秀な人材を確保しなければならない介護業界の働き方改革について、多くの介護福祉士を養成している『都城コアカレッジ』介護福祉科の日高芳彦先生にお話を伺ってきました。



都城コアカレッジ 介護福祉科 日高 芳彦 先生

■介護福祉士とは、どのような資格なのでしょう？

「社会福祉士及び介護福祉士法」にもとづく国家資格で、「介

護福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障がいがあることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行う者」となっています。ようするに、介護を必要とする方々のさまざまな生活行為・生活動作を支援し、支える知識と技術をもつ介護の専門資格のことです。

介護福祉士を取得すると福祉関係の業界で幅広く働くことができます。みなさんご存知の通り、社会的ニーズが非常に高いため、不況にも強い国家資格となります。また、介護福祉士として経験や知識を積むことで、チームリーダーや責任者、施設長への昇進も目指せます。さらなる研鑽を積み、資格を取得することでケアマネジャーや相談員などの幅広い仕事を行っている卒業生も多くなります。当校では、さまざまな現場で活躍できる技術と知識を持った介護福祉士を養成しています。

■介護の現場における福祉用具の向上やICT化について教えてください。

現在は過渡期になりますが、福祉用具の向上やICT化は、どんどん進んでいます。特に、「抱えない介護」を実践している『特別養護老人ホーム 白寿園』や『社会福祉法人スマイリング・パーク』では、福祉用具であるスライディングボードや移動用リフトなどを多く活用しています。介護職の職業病と言われる腰痛対策はもちろん、直接抱えないことによって利用者様

います。

■今後、介護業界において求められるのは、どのような人材なのでしょう？

間違いなく求められるのは、教育力を持ったリーダーとしての介護福祉士だと考えています。やはり、介護業界の人材不足は否めないため、今後も外国人や無資格の方は増えていく傾向にあります。そのため、その方々へ最新の知識と技術を正確に伝え、最善の介護について指導していくことのできる方が求められています。

■介護職員が安心して働くための教育システムなどはありますか？

日進月歩で変化していく介護業界で、知識と技術の向上を図りながら、介護職員が安心して働くための教育環境を重視する施設も増えてきています。本校の協力施設である『特別養護老人ホーム 鹿屋長寿園』では、教育を行う機関があり、新人スタッフの研修やケアなどを専属で行い、より快適に働けるようなサポートを担っているそうです。この教育システムの充実

今回は、介護福祉士の待遇改善のお話を伺い、人材育成の重要性を改めて知ることになりました。自分自身や家族に介護が必要となった時に、誰しもが「知識に優れた・技術のある方」に介護してもらいたい……と、思うのではないのでしょうか？ 介護に携わる方々の待遇が、さらに改善され、優秀な人材が増えることを切に願います。

